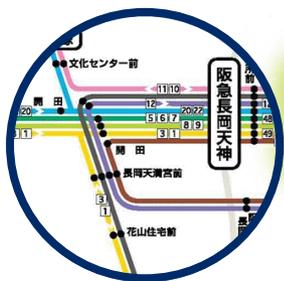


資料 1



第7回

長岡京市地域公共交通協議会

令和7年3月3日（月）午後3時～

長岡京市役所 新庁舎（1期） 会議室402

- はっぴいバス運行間隔の変更等について
- 長岡京市の取り組み（令和7年度予算案）について
- 部会の設置について
- 京都京阪バス淀山崎線の廃止について
- 公共交通の現状について

- はっぴいバス運行間隔の変更等について
- 長岡京市の取り組み（令和7年度予算案）について
- 部会の設置について
- 京都京阪バス淀山崎線の廃止について
- 公共交通の現状について

- はっぴいバス運行間隔の変更等について
- 長岡京市の取り組み（令和7年度予算案）について
- 部会の設置について
- 京都京阪バス淀山崎線の廃止について
- 公共交通の現状について

取り組み全体の方向性について

長岡京市地域公共交通計画

- ・計画期間5年（令和10年まで）
- ・本市の**交通マスタープラン**
- ・現状を踏まえて、**利便性の向上と将来にわたって持続可能な地域公共交通ネットワーク**の再構築・再整理を目指す

市営駐車場事業

- ・令和6年度末 事業債償還終了
- ・令和7年度より一定の余剰金の発生
- ・余剰金は新たな基金も設置しながら**公共交通の維持・確保に充てる**事で広く市民に還元していく方針



地域公共交通計画を推進する事が、地域公共交通の維持・確保に資する事となる。



全体の方向性

地域公共交通計画の方針・成果指標を踏まえた
関連事業の展開及び駐車場余剰金の活用

長岡京市地域公共交通計画の方針と施策

基本方針	施策の柱	実施中の施策
1.市民の移動を支える交通システムの維持・構築	幹線ネットワークの維持	・ 利便性向上・利用促進策
	既存コミュニティバスの運行	・ はっぴいバス、東部バスの運行
	タクシーサービスによる移動ニーズへの対応	・ タクシー乗継事業 ・ 愛のタクシー事業
2.自家用車に頼らず、歩いて暮らせる公共交通中心のまちづくり	駅周辺まちづくりとの連携	・ 阪急長岡天神駅周辺整備
	自転車利用環境整備との連携	・ 矢羽根の整備 ・ 駐輪場管理運営事業
	徒歩・自転車と公共交通利用を促すソフト施策の推進	・ 免許返納支援事業 ・ 定期券等購入補助事業 ・ モビリティ・マネジメントの取組み
3.公共交通をみんなで活用し、維持する体制の構築	多様な主体で維持・活性化する仕組みづくりと意識の醸成	・ はっぴいバス済生会無料
	既存の枠組みにとらわれない地域公共交通のあり方検討	・ 事例調査・研究

長岡京市地域公共交通計画の成果指標と施策

指標		現況		目標値	関連施策
交通空白地の解消率		88%	⇒	88%	・はっぴいバス・東部バスの運行
タクシーの市内配車台数		63台	⇒	63台	
(参考)阪急バス長岡京線の収支状況		1(2023)	⇒	1.3	
自動車分担率	通勤・通学	25.2%	⇒	23.0%	・定期券等購入補助事業
	買物	45.1%	⇒	41.0%	
	通院	34.6%	⇒	31.0%	・はっぴいバス済生会無料
免許返納者に占める日常的に運転していた人の割合		47%	⇒	50%	・免許返納支援事業
グランドパスの保有者数		333人	⇒	500人	・定期券等購入補助事業
タクシー乗継事業の利用件数（年間）		2003件	⇒	3500件	・タクシー乗継事業
自転車ネットワーク優先路線整備状況		7.7km	⇒	18km	・矢羽根の整備
鉄道駅の1日利用者数（市内3駅）		37000人	⇒	37000人	
路線バスの利用者数（年間）		150万人	⇒	150万人	
コミバス等の利用者数	はっぴいバス	10人/便	⇒	11人/便	
	東部バス	7人/便	⇒	10人/便	
タクシーの利用者数（年間）		47万人	⇒	47万人	・タクシー乗継事業

計画における施策全体の現状と課題

現状

- ・ コミバスや東部バスの運行によりネットワークの維持に寄与している。
→喫緊の課題である担い手不足の問題に対して具体的な取組みはない。
- ・ 高齢者をメインターゲットとした施策は、比較的充実している。
→若年世代向けの施策は、高齢者向けの施策と比べ規模は小さい。
→直接に現役世代をターゲットとした施策はない。
- ・ 利便性向上・利用促進につながる施策を複合的に展開している。
→利用者数の増加に直結する施策はない。

課題

- ・ 担い手確保に向けた取組み
- ・ 若年・現役世代へ向けた取組み
- ・ 利用者数の増加につながる取組み



方針

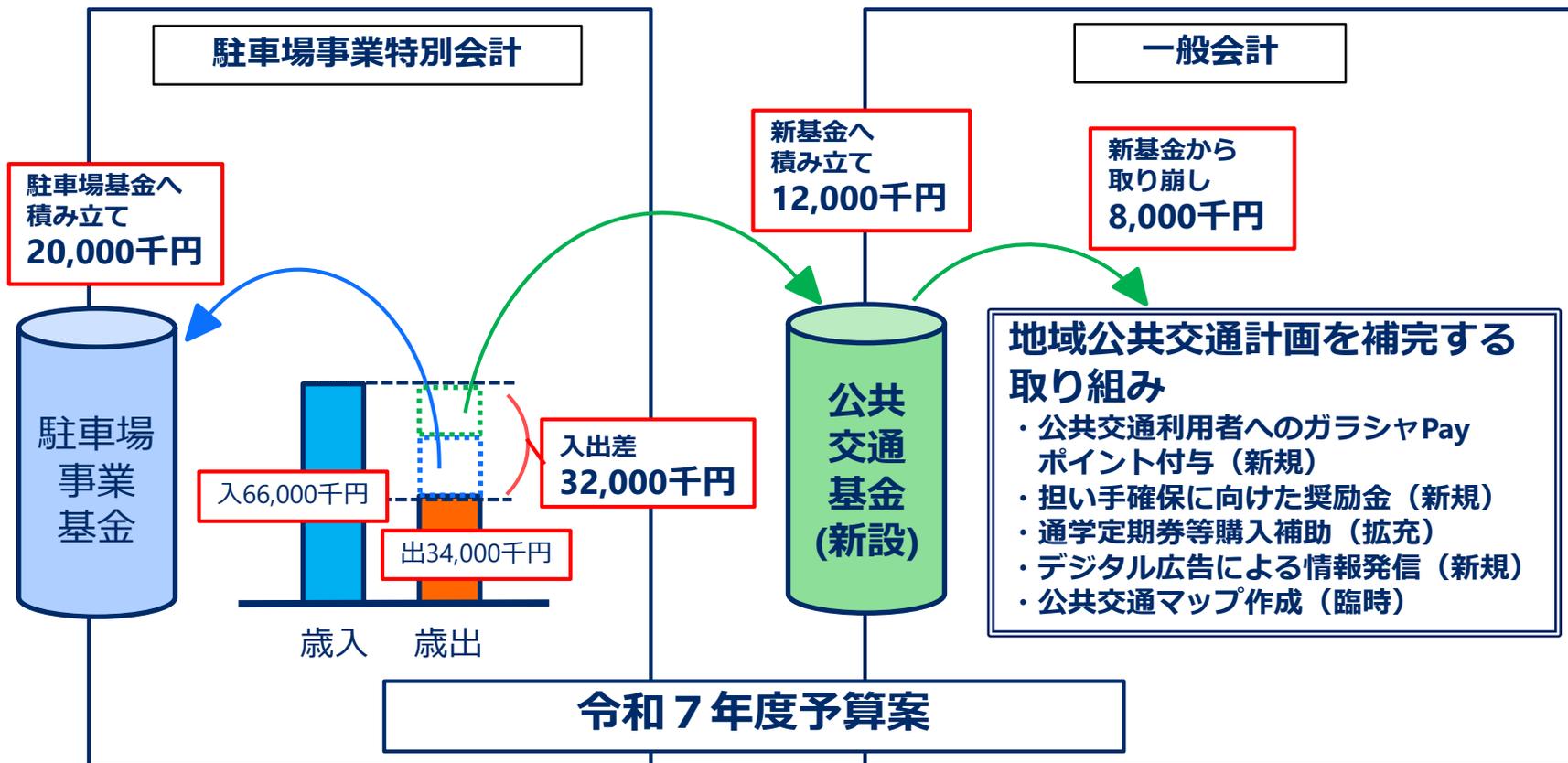
駐車場余剰金の活用により地域公共交通計画を補完する取組み・施策を展開

長岡京市公共交通基金について

件名	長岡京市公共交通基金の創設			
基本方針との関連	基本方針1	◎	関連指標	交通空白地の解消率
	基本方針2	○		
	基本方針3	○		
事業概要	<p>【目的】地域公共交通の基盤を将来にわたり安定させるため、地域公共交通の維持・確保のための新たな基金を創設し、今後発生し得る様々な負担に備えるとともに、今後の変化に対応していくための財源を確保し、持続可能な地域公共交通の実現に寄与する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する新たな基金を創設し、駐車場事業の余剰金をここに積み立てる事により、地域公共交通の維持・確保のため余剰金の活用を図るとともに、柔軟な運用を実現する。 ・新基金の具体的な用途は、今後必要となるはっぴいバス・東部バス車両更新等のハード整備に要する費用を主軸に想定し、必要となる費用を積み立てる。 ・また、将来的には、バスのEV車両やFCV車両といった次世代車両の導入の検討や、自動運転化への対応といった今後の展開も想定しながら、これらの未来を見据えた取り組みに新基金を活用し対応していく事も検討していく。 			
費用	項目	金額	積算根拠等	
	基金積立金	12,439千円		
財源	駐車場事業特会から繰り入れ	12,439千円		

長岡京市公共交通基金条例の制定について

余剰金の流れ



- ・バンビオ2番館駐車場建設債を完済(32,000千円/年)
- ・余剰金を「駐車場事業基金」と「新たな公共交通基金」へ積立する
- ・新たな基金より、持続可能な地域公共交通の実現に繋げるため施策を進める

令和7年度事業案について①

件名	公共交通の担い手確保に向けた助成金制度			
基本方針との関連	基本方針1	◎	関連指標	交通空白地の解消率
	基本方針2			タクシーの市内配車台数
	基本方針3	○		
事業概要	<p>【目的】市域内のバスやタクシーの運行の維持・確保のため、運転士や事業者に対する助成金を支出する事により、地域公共交通の担い手の確保に寄与する。</p> <p>【概要】</p> <p>■バス：運転士本人に対する助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入社後5年まで、大山崎営業所勤務の運転士を対象。 ・一定期間が経過するごとに支給。最大5年で合計50万円を上限とし、市内在住・市外で支給額に差。 <p>■タクシー：運転士を雇用する事業者に対する助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用のメインとなっている成果報酬型業者からの紹介について、長岡勤務での新規採用に至った場合に、タクシー事業者が負担する紹介料（30万円～48万円）の一部を助成する。 ・助成率1/2。 			
費用	項目	金額	積算根拠等	
	バス運転士確保助成金	500千円	市内150千円×2人+市外100千円×2人（1年目）	
	タクシー運転士確保助成金	480千円	新規採用2人×48万円×助成率1/2	

令和7年度事業案について②

件名		公共交通利用者等を対象としたガラシャPayポイント付与		
基本方針との関連	基本方針1	◎	関連指標	阪急バス長岡京線の収支状況
	基本方針2	◎		自動車分担率
	基本方針3	◎		路線バスの利用者数
				コミバス等の利用者数
事業概要				
<p>【目的】公共交通利用者等を対象に申し込み・抽選等によりガラシャPayポイントを付与する事により、公共交通利用のインセンティブを創出し利用を促進するとともに、駐車場事業の余剰金を広く利用者及び地域経済へ還元する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用者等を対象にガラシャPayポイントを付与し、そのポイント分を市が負担する。 通常のガラシャPayポイントと別枠で付与。1人につき1,000円相当程度とする。 ポイントの利用可能場所や期間は、通常のガラシャPayに準ずる。 対象者は長岡京市民。定期券保有や交通系ICカードでの路線バス利用回数等の応募要件を設ける。 対象者の選定等は担当課で、アプリ等の処理や精算等の手続きは長岡京市商工会での対応を想定。 				
費用	項目	金額	積算根拠等	
	プレミアム分負担金	1,000千円	ポイント分1千円×1,000人	
	手数料	50千円	長岡京市商工会への事務手数料	

令和7年度事業案について②

ガラシャPayとは

- ・長岡京市商工会が発行するプレミアム付き商品券。
- ・申し込みには「ガラシャPayアプリ」をダウンロードする必要があり、商品の購入はそのアプリにより行う。
- ・申し込み期間は期間限定となっており、去年は10月に実施。



長岡京市商工会

ガラシャ Pay

かしこく長岡京

プレミアム付商品券(電子版)

ガラシャ商品券

20%お得!!

販売額	券面額
1セット 10,000円	12,000円

地域の石店(中小店舗)で使える
地域専用券 6,000円分
地域の石店の他大型店舗でも使える
共通券 6,000円分

お一人様 長岡京市民 限定 50,000円まで申し込み可能

利用期間
令和6年2月10日 ▶ 令和6年4月30日

申込期間
令和6年1月15日 ▶ 令和6年1月31日

登録・申し込み

「ガラシャPay」アプリをダウンロード
会員登録
おアプリ「申し込み」ボタンから申し込み

アプリダウンロード
コードから

長岡京市商工会
https://gaga258.jp/

商品券購入

アプリ内の「購入チャージ」ボタン
をタップ

申込多数の
場合は抽選

お支払い方法は
クレジットカードまたは
コンビニ支払い

登録店ご利用

登録店舗のQRコードを読み取り
お支払い

お支払い方法は
クレジットカードまたは
コンビニ支払い

→ 申し込み後、お支払い方法を確認し、会員登録後、プレミアムを含んだ額がアプリにチャージ

◀ ガラシャPay登録事業所募集 ▶

長岡京市の多くの皆様が利用される【ガラシャPay】
取扱事業所登録で、販売促進・売上向上!!

登録可能店舗：長岡京市内に所在する事業所に限る
事務手数料：会員2%（非会員5%）
ただし大型店については5%（非会員8%）

募集期間：令和6年1月5日～1月31日
*募集期間後も登録申請は可ですが、正確な情報の提供が求められる可能性があります

取扱事業所は長岡京市商工会ポータルサイト「ええやん長岡京」
の特設ページで事業所紹介をさせていただきます。是非ご登録ください。

詳細は、当会ホームページをご覧ください ⇒⇒⇒

*本事業は、国の重点支援地方交付金を活用しています。




令和7年度事業案について③

件名	若年世代を対象とした通学定期券等購入補助の補助額改正			
基本方針との関連	基本方針1	○	関連指標	自動車分担率
	基本方針2	◎		路線バスの利用者数
	基本方針3	◎		コミバス等の利用者数

事業概要

【目的】通学者を対象とした定期券等の購入補助額を増額し、市営駐輪場並みの自己負担額となるよう設定する事により、通学における**若年世代の公共交通利用を促進**するとともに、**過度な自転車利用や雨天時の自動車による送迎を抑制し、交通秩序の確保**に資する。

【概要】

- ・定期券等購入補助事業のうち、**通学定期及びスクールパスに対する補助額を拡充**。
- ・補助額案

通学定期 (230円)	販売額	補助額 (現行)	補助額 (案)	変更後 自己負担額
1カ月	8,560円	3,000円	6,000円	2,560円
3カ月	24,400円	10,000円	18,000円	6,400円
6ヶ月	46,220円	20,000円	34,000円	12,220円

＜参考＞市営駐輪場 学生定期料金 (屋内)	
1 か月	2,500円
3 か月	6,400円
6 か月	12,000円

費用	項目	金額	積算根拠等
	定期券等購入補助金 (通学)	4,760千円	34千円×2回×70人

令和7年度事業案について④

件名	若年世代・現役世代へ向けたSNSにおけるデジタル広告による情報発信		
基本方針との関連	基本方針1		関連指標
	基本方針2	○	
	基本方針3	◎	
			自動車分担率
			路線バスの利用者数
			コミバス等の利用者数
事業概要	<p>【目的】モビリティ・マネジメントの一環として、特定の層をターゲットとした情報（通学定期補助制度、きょうとエコサマー）について、ターゲット層と親和性が高いと考えられるSNSを介して広告により発信する事により、利用者が直接に情報に触れる機会を効率的に創出し、各事業の推進に寄与する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS広告について、ターゲットの地域、年齢、性別といった属性を絞り込んで広告を展開する事が可能。 ・また、世代により、日常的に利用するSNSのプラットフォームにも一定の傾向がある。 ・これらを念頭に、「学生世代」や「小学生の親世代」といったターゲットに絞り込んで、最適なプラットフォームにおいて広告枠で情報を発信する事により、ターゲット層が情報を目にする機会を創出する。 		
費用	項目	金額	積算根拠等
	広告掲載業務委託料	341千円	62千円/1件×5回×1.1

令和7年度事業案について④

メッセージアプリにおける広告掲載のイメージ（案）



トークリスト画面等に
広告を表示

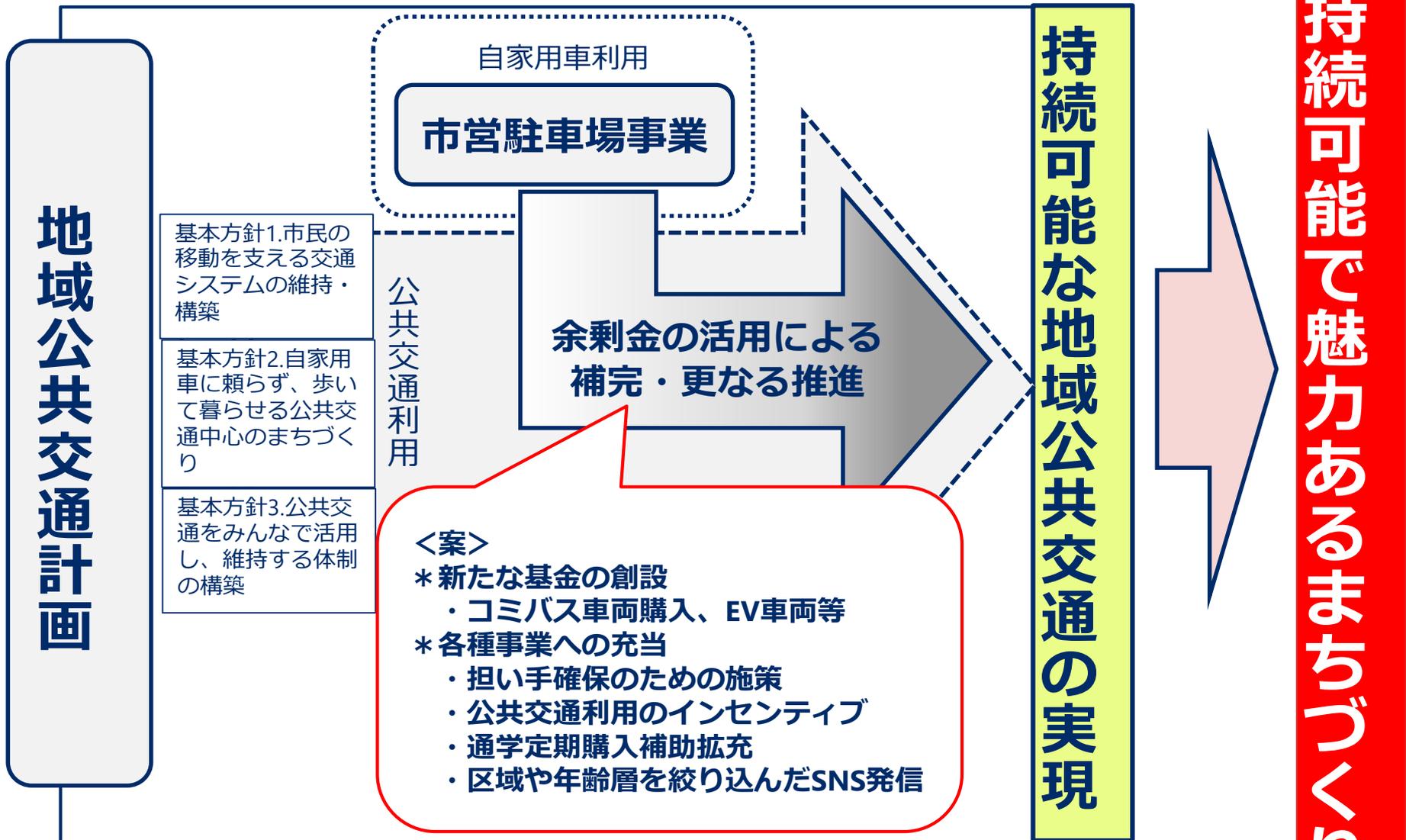
令和7年度事業案について⑤

件名		「バス路線入りおでかけマップ」の更新		
基本方針との関連	基本方針1		関連指標	自動車分担率
	基本方針2	○		路線バスの利用者数
	基本方針3	◎		コミバス等の利用者数
事業概要		<p>【目的】モビリティ・マネジメントの一環として、バス路線情報を一つにまとめた「おでかけマップ」を作成し、世代を問わず活用できる紙媒体及びデータにより、路線バスの利用に向けた分かりやすい情報の発信に活用し、バス利用の促進に寄与する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の「おでかけマップ」は、平成29年度に作成されたものが最後となっており、在庫が残っていない。また、路線の変更等により内容が変わっているため、現在は利用できない。 阪急バス、はっぴいバス、京都市バス等の情報がまとめられた路線図等は、「おでかけマップ」以外には作成されていない。 「おでかけマップ」を最新の内容に更新し、バス利用促進に活用する。 		
費用	項目	金額	積算根拠等	
	公共交通マップ作成委託料	880千円	単価80円×10,000枚×1.1	

長岡京市地域公共交通計画の成果指標と施策(後)

指標	現況		目標値	関連施策	
交通空白地の解消率	88%	⇒	88%	・はっぴいバス・東部バスの運行 ・担い手確保助成金	
タクシーの市内配車台数	63台	⇒	63台	・担い手確保助成金	
(参考)阪急バス長岡京線の収支状況	1(2023)	⇒	1.3	・ガラシャPayポイント付与	
自動車分担率	通勤・通学	25.2%	⇒	23.0%	・定期券等購入補助事業(拡充) ・SNS広告
	買物	45.1%	⇒	41.0%	・ガラシャPayポイント付与
	通院	34.6%	⇒	31.0%	・はっぴいバス済生会無料
免許返納者に占める日常的に運転していた人の割合	47%	⇒	50%	・免許返納支援事業	
グランドバスの保有者数	333人	⇒	500人	・定期券等購入補助事業	
タクシー乗継事業の利用件数(年間)	2003件	⇒	3500件	・タクシー乗継事業	
自転車ネットワーク優先路線整備状況	7.7km	⇒	18km	・矢羽根の整備	
鉄道駅の1日利用者数(市内3駅)	37000人	⇒	37000人	・各取り組み全体により維持	
路線バスの利用者数(年間)	150万人	⇒	150万人	・ガラシャPayポイント付与 ・「おでかけマップ」の更新	
コミバス等の利用者数	はっぴいバス	10人/便	⇒	11人/便	
	東部バス	7人/便	⇒	10人/便	
タクシーの利用者数(年間)	47万人	⇒	47万人	・タクシー乗継事業	

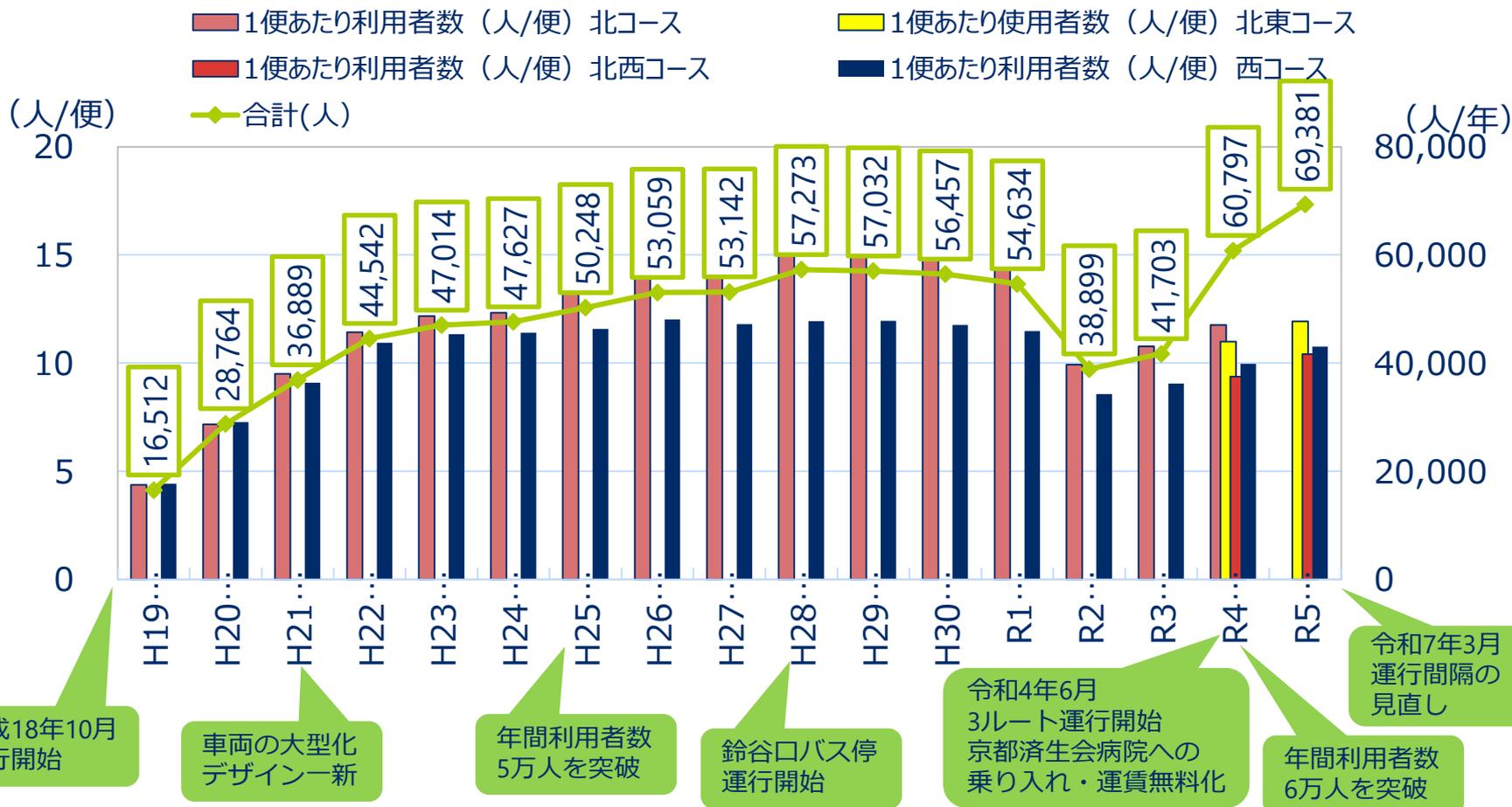
取り組みの全体像について（まとめ）



- はっぴいバス運行間隔の変更等について
- 長岡京市の取り組み（令和7年度予算案）について
- 部会の設置について
- 京都京阪バス淀山崎線の廃止について
- 公共交通の現状について

部会の設置について

はっぴいバスのこれまでの運行の変遷



運行開始から年数の経過とともに変化してきている。特に令和4年6月の3ルート化等により大きな変化⇒年々、運行の重要性を増している。

部会の設置について

コミュニティバスを取り巻く最近の状況

全国的な状況

- ・全国的にバス・タクシー事業の縮小・撤退が続いている。
- ・「日本版ライドシェア」運行開始
- ・国土交通省「交通空白」解消本部の設置
- ・「交通空白」解消・官民連携プラットフォームの設置



国をあげてこれまでにない「交通空白」解消への取組みを推進。
⇒今後の動向を注視する必要性。



状況に応じ、継続してコミュニティバスの運行のあり方について検討していく必要。

長岡京はっぴいバス

- ・3ルート化以降、利用者の増加が続いている。
- ・特に京都済生会病院との取り組みは多くのご利用がある。
- ・運行にかかる費用は増加傾向にある。
- ・市内民間路線バスの減便・廃止。
- ・更なるサービスの拡大を求める声も。



これまで以上にはっぴいバスの運行が地域にとって重要となってきた。
⇒今後の展望を見据えた検討の必要性。



状況に応じ、継続してコミュニティバスの運行のあり方について検討していく必要。

部会の設置について

部会について

○長岡京市公共交通に関する条例施行規則
第6条 会長は、地域公共交通に関する専門
の事項を調査し、協議を行うために必要が
あると認めるときは、協議会に部会を置く
ことができる。

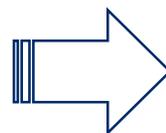
過去には、
・はっぴいバス
・東部バス
・路線再編
・運賃改定
といった事項について
部会で検討した経緯も
あり。



コミュニティバスをテーマとした部会を、令和7年度より設置する事を検討。

テーマ	具体的な検討事項（例）
交通まちづくりとはっぴいバス	・現状の課題、改善点 ・利用促進の取組み ・サービスのあり方、向上 ・ルート・ダイヤについて ・評価指標について 等

直近の内容では、
・バス停の移設
・運行間隔の見直し
といった事項も検討の対象に。



専門性の高い調査事項等については、必要に応じ委託業務等による調査・分析等も検討。

※令和7年度末をもって任期満了となるため、令和7年度については、まずは内容を絞って開催する事を想定。

- はっぴいバス運行間隔の変更等について
- 長岡京市の取り組み（令和7年度予算案）について
- 部会の設置について
- 京都京阪バス淀山崎線の廃止について
- 公共交通の現状について

- はっぴいバス運行間隔の変更等について
- 長岡京市の取り組み（令和7年度予算案）について
- 部会の設置について
- 京都京阪バス淀山崎線の廃止について
- 公共交通の現状について